

## 2. QTN400-II/450-II [2000U]

項目		単位	QTN400-II	QTN450-II	QTN450-II 7.2 Bore	
能力・容量	チャックサイズ	in.	12	18, 21 (オプション)		
	最大スイング	mm	φ845			
	標準加工径	mm	φ336			
	最大加工径	mm	φ580			
	棒材作業能力	mm	φ102 ※1	φ165 ※2	φ184 ※2	
	主軸端と刃物台端面の距離	mm	168~2283			
	最大支持 質量 ※3	チャックワーク シャフトワーク	N (kgf)	9807 (1000)	14710 (1500)	17640 (1800)
主軸	主軸回転速度 ※4	min <sup>-1</sup>	2500	2000		
	主軸貫通穴径	mm	φ132	φ166	φ185	
	モータ出力(30分/連続定格)	kW (HP)	30/22 (40/30)			
	最大トルク	N·m (kgf·m)	1848 (188.4)			
	工具本数	本	12			
刃物台	工具サイズ	外径旋削	□32			
		内径旋削	mm	φ50		
	割出時間	one/full	sec	0.25/0.8		
テール ストック	テールスピンドル穴型式	MT	ビルトインセンタ No. 5 [オプション: デッドセンタ No. 5]			
	移動量(テールストック)	mm	2075			
	最大推力	N (kgf)	13 (1326)			
送り軸	早送り速度	X	30			
		Z	30			
	移動量	X	310 (305 + 5)			
		Z	2120 (2115 + 5)			
その他	クーラントタンク	L	400			
	電源容量	連続定格/30分定格	kVA	51.3/63.0		
	エア圧力	MPa	0.5			
	エア消費量	L/min (ANR)	230			
	総合	大きさ	心高	1140		
全長			5180			
全幅			2288			
全高			2042.3			
フロアスペース		m <sup>2</sup>	11.8			
機械質量		kg	11500			

項目		単位	QTN400-II	QTN450-II	QTN450-II 7.2 Bore
騒音	騒音値(LWA)	dB		—	
	不確定値(K)			—	
	測定条件	1. 主軸回転数 2000 min <sup>-1</sup> (チャックによるワーク保持) 2. 送り軸駆動 3. タレットインデックス作動 4. チップコンベア ON 5. テールストック未使用			
	測定方法	EN-12415/12417/12478, ISO230-5			
	測定位置	<p>オペレータ位置 測定高さ 1.6 m</p> <p>(注) この機械の空気伝導騒音の主音源は下記を含む                      ・主軸ドライブ                      ・送り軸ドライブ                      ・タレットインデックス          ・チップコンベア</p>			
<p>注記: 提示した騒音値は参考値であり、必ずしも安全作業レベルの値ではありません。作業者が実際にさらされる騒音環境は、機械自身のほかに、作業部屋やほかの騒音も含まれ、機械の数・ほかの隣接する次工程・作業者がさらされている時間にも影響されます。また、許容される作業への騒音環境も国により異なります。つまり、提示した騒音値と実際の騒音値には相関性がありますが、更なる予防処置が必要かどうかを判断決定するために、この提示した騒音値のみ信頼して使うことはできません。</p> <p>以下に原文を示します。(EN-12415/12417/12478 の序文より)                      The figures quoted are emission levels and are not necessarily safe working levels. Whilst there is a correlation between the emission and exposure levels, this cannot be used reliably to determine whether or not further precautions are required. Factors that influence the actual level of exposure of the work-force include the characteristics of the work room, the other sources of noise, etc. i.e. the number of machines and other adjacent processes, and the length of time for which an operator is exposed to the noise. Also the permissible exposure level can vary from country to country. This information, however, will enable the user of the machine to make a better evaluation of the hazard and risk.</p>					

- ※1 標準チャック BB212A115A+SS2110C15Y (北川鉄工所)装着時。(日本と第3市場は中実チャックが標準仕様。)(B-15A1115A+F2511HS-15A (北川鉄工所)装着時はφ117となります。)
- ※2 QTN450-II と QTN450-II 7.2 Bore の棒材作業能力はチャックおよびシリンダ無しの場合。(チャックパッケージはオプション)
- ※3 チャック重量を含みます。ワーク保持装置の剛性・保持力は考慮されていません。ワークの重心は QTN400-II では主軸端面より 320 mm, QTN450-II で 360 mm 以内。
- ※4 チャック仕様により異なります。

**注意:** 本説明書で示されている数値と機械に取り付けてある銘板の数値が異なるときは、銘板の数値を使用してください。